

## 浜田教育センター 研究・研修スタッフ

校内研究をより充実させるために『はじめての研究主任ガイド』をつくりました！

初めて研究主任をする先生方をはじめ、校内研究の進め方に不安を感じている先生方に向けて、その不安が少しでも和らぎ、校内研究を進めていくための一助となることを願って作成しました。年度初めの研究計画の立案、授業研究や研究協議の準備、学習指導案の検討、校内研修の資料としてなど、様々な場面で活用できます。本ガイドは、3つの章で構成しています。参考になりそうなところを開いて、ご活用ください！

### 1. 研究主任の「声」から考える



Q&A 方式での解説



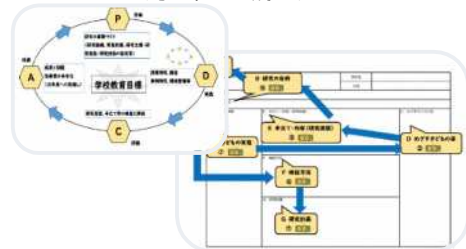
情報のハブ的機能



実際の声から

### 2. 研究の進め方を考える

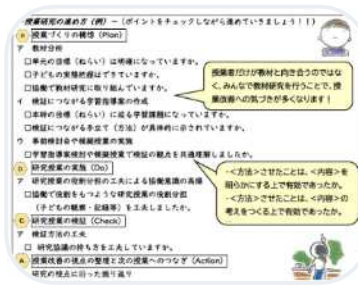
PDCA サイクルを意識した構成



研究構想の立て方



年間スケジュールの例



授業研究と研究協議の例

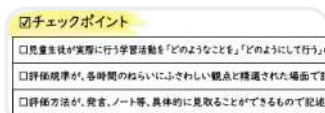
### 3. 学習指導案の書き方を考える



学習指導案作成手順例



学習指導案例



チェックポイントの提示



学習指導案の書き方に関する資料

『はじめての研究主任ガイド』のダウンロードはこちらから ↓ →

島根県教育センターHP

トップページ>調査・研究>研究成果物>研究・研修スタッフ

<https://www.shimane-ec.pref.shimane.lg.jp/chosa-kenkyu/seikabutsu/post-106.html>



## 令和7年度全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた授業改善を！

国立教育政策研究所のHPには、「**結果分析**」から「**授業改善・充実**」に向けた取組へのヒントがたくさんあり、ダウンロードもできます！

◇ 8月20日、21日に開催の「令和7年度全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえた学習指導の改善・充実に向けた説明会（ウェブ形式）」の説明資料等及び説明動画



- ・「(4)説明資料」で説明資料の、「①質問調査結果について」「②IRT 関係について」「③データの活用について」「④中学校 理科」「⑤小学校 理科」「⑥小学校 国語」「⑦中学校 国語」「⑧小学校 算数」「⑨中学校 数学」を見ることができます。
- ・説明動画が、9月下旬にアップされる予定です。

◇ 令和7年度全国学力・学習状況調査 報告書・調査結果資料

〔結果（概要）、結果（概要）のポイント、各調査の報告書、調査結果資料 他〕



### 学校では・・・

調査問題を対象学年の先生方だけでなく、他の先生と一緒に解いてみる。そして、**解説資料**や**報告書**等を参考にしながら、どのような力が必要なのか考える。

調査実施後、児童生徒の解答を自校で確認する。その際、解説資料を参考にしながら、児童生徒の解答状況を把握し、**弱点・つまずき**を捉える。

調査問題や解説資料、報告書、**報告書の「授業アイデア例」**を参考にして、授業で扱う教材づくりや学習の成果を評価するための問題づくりを行う。

**解説資料**や**報告書の「学習指導に当たって」**を参考にして、指導計画の改善・充実を図る。

校内での授業研究において、調査問題に関連した課題を取り上げる際、解説資料や報告書等を参考としながら全国学力・学習状況調査との関係を学習指導案に明記する。

「説明会資料(4)説明資料③データの活用について」において、児童生徒の弱点・つまずきを見つけるための方法を紹介！

G P分析図で見られた特徴を踏まえた授業改善例を紹介！

ポイントを端的に表現！

国立教育政策研究所「令和7年度全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえた学習指導の改善・充実に向けた説明会(3)参考資料」より

島根県の結果概要については、EIOS からダウンロードできます。

〔教科に関する調査の結果、児童生徒質問・学校質問調査の結果、今後の取組などを見ることができます。〕



## 1人の100歩よりみんなの1歩になることを考える

～ [I332]「校内の情報化を進めたい教員のためのICT活用推進実践講座」(6月5日)～

今年度、校内の情報化を進めたいリーダー教員向けの研修を新設しました。

京都教育大学の**大久保紀一郎先生**をお迎えし、学校教職員全員で情報化を進める1歩を踏み出すためのリーダーとしての役割について考えました。

【受講者アンケートより】

### ○学習指導要領が目指す学びの再確認

- ・子どもたち自身が自らの課題を発見し、自ら学びを調整することが大切であるということを理解した。
- ・今求められている力を意識した教材研究と単元計画が大事だと感じました。

### ○校務や授業でクラウド環境を利用できるような働きかけ

- ・他教職員との会話を重視し、全体として、また個人として何に困っているのかを知る必要がある。
- ・時間短縮や情報共有のしやすさにつなげ、教職員がゆとりをもって働けるようにしたい。
- ・取り掛かりやすそうだったものを作り、他の教員に紹介することで、普及を図りたい。

## 特別支援教育 浜田教育センター教育相談スタッフ

今年度、教育相談スタッフ担当の能力開発研修をリニューアルしたり、講座を新設したりしました。その中から、2つの講座をご紹介します。

### 明日からの支援に生かす！

#### 特別支援学級・通級による指導担当のための実践講座

(第1回 5/16 第2回 6/24 第3回 10/7 第4回 12/2)

兵庫県加古川市立平岡小学校 主幹教諭 尾住奈未先生

この講座は日々多忙な先生方が受講しやすいように、放課後の短い時間、15時から90分オンライン×年間4回シリーズで設定しました。放課後の短い時間ですが経験豊富な尾住先生による講義では、「なるほど〜」「明日からやってみたいな」「ちょっと真似できるかも」と子どもとのかかわり方についての面白エッセンスやヒントがたくさん詰まっています。

子どもとの関係づくりには、自立活動の視点を踏まえながら、子どもが「安心」「安全」を感じられるために子どもの特性理解、子どもの見方、教室環境づくりが必要です。このように子どもとのかかわるベースがある中で、指導をする際にはその子どもに合った学び、特性に合った教材であるかを考えます。「特別支援学級や通級がふさわしい学びの場になっているか」「根拠のある指導をする」ことを大切にし、併せて子どもが自分で「選ぶこと」「決める」ことも忘れずに。また、懇談や教育相談で保護者に子どもの様子をお伝えする際には、わかりやすい言葉や具体的なエピソード、表現を用い、子どもの姿や様子が伝わるように・浮かんでくるように話したり、聞いたりすることは日頃から意識したいことです。

毎回講座を終えると、受講者の方から感想や質問を多くいただきます。尾住先生には追加の資料提供をしていただいて、質問に回答するかたちをとり、受講者の方のニーズにも応じて進めています。また、年度初めに大切なことや懇談に向けての心構え・準備など時期に応じた内容で構成しており、学校現場で明日からの支援に生かせる内容をお届けしています。

受講者アンケートより  
子どもの困難さの背景はいろいろな原因があり、アセスメントが大切であると改めて感じました。アセスメント＝発達検査ではなく、日頃から子どもたちとのかかわりが大切だと思いました。

受講者アンケートより  
「楽しい」から身につく、身についていくこと、とても納得しました。

受講者アンケートより  
子どもの実態を見とることが大切だということは、通常の学級でも同じだと思いました。

### 「個別的教育支援計画」で

#### つなげる支援・つながる支援講座(7月1日)

東京学芸大学 大学教育研究基盤センター機構  
学生支援センター 准教授 小林玄先生

個別的教育支援計画を作成するにあたって負担に感じたり、活用に迷いを感じておられたりする先生も多いのではないのでしょうか。

この講座は、「つなぐ」をキーワードに個別的教育支援計画の意義や活用するイメージをもっていただき、先生方の負担感を和らげ「頑張る」気持ちを支える内容となっています。

講義では、個別的教育支援計画の意義について、中学校から高校、高校から大学への引き継ぎの難しさや、進学先での具体的な活用方法など、県外の事例も交えながら詳しく解説いただきました。参加者の多くが、「個別的教育支援計画は作成が義務付けられているもの」「子どもにとって重要なもの」といった認識をもっていますが、それ以上の意義について改めて考える機会となりました。幼保園から小・中・高校、さらには特別支援学校まで、幅広い校種の方々に加えて、鳥取県や埼玉県といった県外からの参加もありました。グループ協議では、他県での取組や、進学先で個別的教育支援計画がどのように活かされているのかを具体的にイメージすることができました。参加者にとって、多くの気づきや発見が得られる有意義な時間となりました。

小林先生は「個別的教育支援計画の役割は、子どもが将来、自分の特性との付き合い方を理解し、自立していくための土台をつくること」と述べられています。この講義を通して“今”だけに目を向けるのではなく、“人生”という長期的・継続的な視点で支援を考えていくイメージをもつことにつながると思います。

受講者アンケートより  
個別的教育支援計画は、子ども一人一人のニーズを正確に把握し、よりよい支援につなげていくための大切なものだとすることを改めて感じました。

受講者アンケートより  
高校の方から、個別的教育支援計画は子どもによって違うと聞き驚きました。引き継ぐまでは関心があっても、その後まで考えたことがなかったことで、支援をつなげていくために大切なデータということを再認識しました。

現場のニーズに合わせて、来年度以降も様々な研修講座を準備します。是非、ご参加ください。

# 広がる学び、深まるつながり ～島根大学・鳥取・埼玉との連携から～

島根県教育センターでは、島根大学・鳥取県・埼玉県と手を組み、学びの幅を広げる研修に取り組んでいます。



## POINT 01 学びが広がる

島根大学からは理論と実践が融合した質の高い学びをたくさん提供していただいています。中には定員 10 名に 30 名が応募する人気の講座もあります。鳥取県とは 20 年以上の連携が続く、今年度は島根から 120 名、鳥取からは何と 211 名が受講しています。埼玉県とは令和 2 年に連携を開始し、遠隔で関東圏の実践に触れられます。今年度は島根から 42 名が受講しています。3 県の教職員が同じ講座で学ぶ場面も生まれていて、学びはどんどん広がっています。

## POINT 02 つながりが深まる

鳥取・埼玉の両教育センターとは、それぞれ定期的に協議し、情報交換や、合同研修を通じて、指導主事の資質の向上を図っています。最近では、「研修観の転換（＝これからの研修のあり方）」をテーマに、合同で協議や研究を進めており、互いの知恵を掛け合わせ、よりよい研修デザインを追求しています。これらのつながりが、研修の質を深めています。

これからも島根県教育センターは、つながりを力に、皆さまの学びを支え続けます。

## 来所教育相談のご案内

友だち関係がうまく  
いかなくて…

学校教育や家庭教育に関する様々な不安や悩み、心配事はありませんか？  
わたしたちが一緒に考えさせていただきます。  
どうぞお気軽に、ご連絡ください。  
お申し込みは、下記の電話番号で受け付けます。

子育てが思い通りに  
いかなくて…

学校に行けなくて…

発育・発達が  
気になって…

### 島根県教育センター

松江市内中原町 255-1

☎0852-22-5876

相談日：毎週火曜日～金曜日

時 間：9:00～17:00

### 浜田教育センター

浜田市長沢町 1550-1

☎0855-23-6784

相談日：毎週月曜日～金曜日

\*水曜日は午後のみ

時 間：9:30～17:00

### “こころ・発達”教育相談室

出雲市下古志町 1574-4

☎080-0200-1556

相談日：毎週水・木曜日

時 間：9:00～16:50

○幼児から高校生までの子どもと保護者が対象です。

継続的に相談に通っていただいています。

○保護者の了解のもと、来所児童生徒に関する**教職員対象の相談（コンサルテーション）**もおこなっています。

○相談は**無料**です。相談内容についての**秘密**は守ります。



ホームページ  
はこちら→



島根県教育センター 教育相談

検索